



わくわく だより NO.9

発行：社会福祉法人わくわく 法人本部
TEL:096-3338-4213/FAX:096-284-7377
〒861-8005 熊本市北区龍田9丁目2番21号

Mail:k-fureaiwork@indigo.plala.or.jp

就労継続支援B型

生活介護

生活共同援助

ふれあいワーク

もねっと

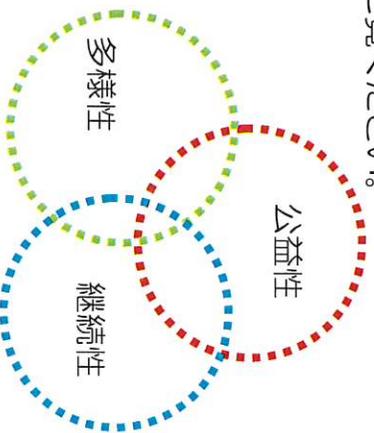
ふれあいワーク

グループホーム事業所

残暑お見舞い申し上げます。残暑と言うにはあまりに暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、江戸中期、商売上手として知られた近江商人は、買い手よし、売り手よし、世間よしの「三方よし」を実践して、世の中の困りごとを商売にする仕組みや考え方を持っていたと言われています。さしずめ江戸版のSDGsといったところでしょうか。

この考え方を現代に当てはめると、自分よし、相手よし、社会よしとなるのでしょうか？目先の利益にこだわらず、立場を超えて協力し、社会の問題を解決していくことは、まわりまわって個人の利益にもつながっていくといった考え方です。わくわくでは、この考えを法人にも持ち込み、5年間の中長期計画を作成しました。社会福祉法人の3つの特性を、人材の交流や育成など通して重なり合いながら、高めていこうとする計画です。下記は、その計画のシンボルマークと今年度のスローガンを載せました。とにかいくいる重なり合う機会をつくっていこうと考えています。今号は、そんなわくわくの日常を載せておりますのでご覧ください。



令和3年度スローガン

『重なり合おう！ 三つの輪。』

令和3年度第1回評議員会・理事会

令和3年度第一回評議員会 理事会が6月12日(土)にふれあいワークの食堂にてそれぞれ午後4時よりと午後5時半より開かれました。

今年は、2年一度の役員改選の時期を迎え、次期の評議員、理事、監事の選任を行いました。評議員会は今年より定数を減らし、7名としました。

森山 茂 様	石津 棟暎 様
岩川恵一郎 様	山本今朝一 様
魚住佳代子 様	関 幸枝 様
黒田チズ子 様	

また、理事 監事も員数を10名から8名に員数を減らし、各事業の管理者が入ることになりました。監事さんち今年度より新しい方をお願いすることになりました。

小笠原嘉祐 理事 (理事長)	
丸山 光代 理事 (副理事長)	
里崎 俊哉 理事 (統括施設長)	
里崎 美香 理事 (もねっと管理者)	
中野 さやこ 理事 (グループホーム管理者)	
堤内 松喜 理事 (ふれあいワーク管理者)	
森 光靖 監事 銀河ステーション管理者	
梅田 佑太 監事 銀河カレッジ事務長	



第1回評議員会の様子

ご寄附いただきました

中山 泰男様 丸野 真司様 兼瀬 律子様
わくわく 家族会様 西島様 (弓削1丁目) お米210キロ

以上の方よりご寄附いただきました。ご厚志に感謝いたします。(令和3年3月31日現在 順不同)

令和2年度決算報告

事業活動収支概要 単位：千円

	法人合計 売上対比	前期比
サービス活動収入		
当期実績	176,215	100%
前期実績	152,658	
サービス活動支出		
当期実績	163,191	93%
前期実績	136,994	90%
(経常支出：内訳)		
人件費	94542	54%
事業費	21,320	12%
事務費	17,614	10%
減価償却ほか	11,339	6%
就労事業費	21,679	12%
うち国庫補助金取崩	-3305	-2%
サービス活動収支差額	13,023	7%
前期実績	15,663	
サービス活動外収支差額	4879	3%
前期実績	246	0%
特別収支差額	2	0%
前期実績	-1233	
当期活動収支差額	17,905	10%
前期実績	14,676	
当期活動収支差差額	16,016	9%

資金収支概要 単位：千円

	法人合計 売上対比	予算比
サービス活動収入		
当期実績	181,322	100%
前期実績	153,059	118%
予算	185,186	98%
事業活動支出		
当期実績	154,539	85%
前期実績	130,441	118%
予算	170,521	91%
(経常支出：内訳)		
人件費	93,697	52%
事業費	21,320	12%
事務費	17,614	10%
就労支援事業費	21,679	17%
支払利息	227	
事業活動収支差額	26,782	15%
前期実績	22,618	118%
設備整備収支差額	-3,131	
前期実績	-14,865	21%
他活動収支差額	855	
前期実績	-838	
当期資金収支差額	22,796	13%
前期実績	6,913	330%
当期活動収支差差額	22,796	13%

※ 理事評議委員会の資料は、
ホームページでご覧になれます。
<http://fureaiwakuwaku.work/>

お疲れ様でした。

6月30日(水)1993年のふれあいワーク
発足当時から、27年間法人を永らく牽引して
こられた。丸山光代さんが退職されることにな
りました。

当日は、午後4時半よりささやかな送る会を開
きました。コロナで集まる事が難しい中でした
が、法人の職員がほぼ全員参加して行いました。

丸山さんは、会のなかで無認可時代の運営に
ご苦労されたお話しやなかまとの関わりに励ま
されてきたことをお話しされました。

最後に理事長より、今後は副理事長として、
法人を支えていただきたいと結びました。



送る会の様子

法人研修

6月30日の午後4時半からに職員27名が参加して第11回法人研修を行いました。

前回は、コロナ禍によるリモート研修でしたので3事業所の職員が久しぶりに集まり、法人職員の一人名のという自覚をもてる貴重な時間でした。小笠原理事長に、これまでの福祉の流れとこれから社会福祉法人に求められているものについてお話していただき、身の引き締まる思いです。

これからも全職員でスキルアップして多様性、持続性公益性を胸に3事業所で連携していきたいと思えます。



法人研修の様子

サービス管理責任者会議

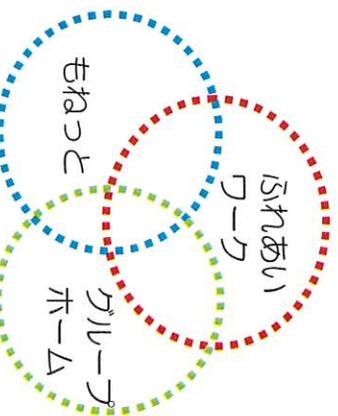
今年度より、法人内にある3つの事業所、ふれあいワーク、もねっと、グループホームにそれぞれ管理者とサービス管理責任者を配置することにしました。これまで管理者が兼務して行うことが、多かったサービス管理責任者を専任でおくことにより、支援の質の向上を狙っています。

但し、支援経験が不足していたり、年齢がまだ若い職員を思い切って抜擢しているため、研修の必要性を感じていました。

そこで、毎月一回のなかま会の日に、統括施設長と各事業所のサービス管理責任者と4名で会議を行っています。

研修だけではなく、情報交換をしたり、会議の運営の仕方を考えたり、と今後業務を行う時の指針になればと思っています。

3人が互いに刺激しあって、これからの良いリーダーに育って行ってくれることを願っています。



重なり合おう
3事業所の輪

就労継続支援 B型

ふれあいワーク



コロナに負けるな!

昨年から続く新型コロナウイルスの影響で、一般企業も打撃を受けている状況です。その中B型事業所も直撃を受けおり一番の収入源である岩田コーポレーションの施設外就労、室内作業の受注も激減し厳しい状態であります。

新たな委託業務として室内班は「ダイレックスの田辺青果」より野菜の袋詰め作業、清掃班は熊本市の健康福祉課より南区の「すこやか交流広場」の清掃作業（除草、トイレ清掃）がかわり懸命に頑張っています。

今だ新型コロナウイルス感染拡大が続いており終息の予想もつかない状況です、ご利用者、職員の健康チェックとご家庭との情報の共有、マスクの着用、手洗い・消毒の徹底とソーシャルディスタンスの確保と引き続き感染防止に取り組みしていきます。

新しい仕事① やさいの袋詰め作業

天候に左右されない作業なので助かっています。玉ねぎの皮むき、人参の袋詰め...みんな丁寧に作業を進めています。袋詰めした野菜はお店の陳列棚に並びます。



今日はたまねぎ。

新しい仕事② すこやか広場の清掃

夏は炎天下、冬は吹きさらしの環境ですが、暑さ寒さにも負けず、除草、トイレ清掃に分れて隅々まで丁寧に作業を進めています。



たいま、作業中

ちねっと 生活介護事業所



昨年の4月に開所しました「ちねっと」の建物はまるで、コロナ予防を考えて作ったかのように、窓辺に向かって一列に仕切りのあるテーブルが配されています。昼食は、窓からの景色を楽しみながら摂っています。

活動もそのテーブルを使用して対面にならず、密になることなくホスティング前のチャシの差し込みや、二つ折りを行うことができるので安心です。ちねっとを建てる時に、縦長の土地であることと一人の空間が好きというなかまの障害特性に思いを寄せて窓辺にテーブルを置くことにしました。

1年半が経ち、皆さんそれぞれにもねっとの中にお気に入りの場所があるご様子です。玄關を入ってすぐの席が好きなお友、エアコンの真下が好きなお友、狭い相談室が好きなお友など様々です。

中でも、奥まっている畳の上がりは人気が高いので、昼食後は早いもの勝ちといった感じでした。「明日も行きたいな」と思ってもらえるような事業所になるよう努めています。



ホスティング準備中

令和3年度下半期行事予定

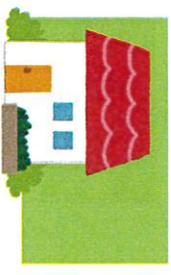
9月 代表者会議
3月 理事評議員会
10月 きょうざれん全国大会
11月 すずかけの会
12月 熊福連フエアー
おとなりワルシエ



1月 御用始め
初詣
理事会
2月 法人研修
避難訓練
6月の法人研修の様子

生活共同援助

ふれあいワーク グループホーム事業所



コロナの感染拡大は、様々な形で暗い影を落とされています。それは、暮らしの場所のグループホームでも例外ではありません。

しかし、そんな中でも、いやこんな中だからこそ人は成長したり、伸びたりすることがあるのだと実感したことがあります。それは、他ならない現在進行中のワーク接種の場面でした。

7月から8月にかけて、熊本市は、障がいをお持ちの方のワーク接種を希望荘で行いました。グループホームの方達もこの機会に接種することになりました。

一度めの接種の際は、怖さと緊張で落ち着かない方が多く、問診の際の受け答えや質問などもままならない様子の方もおられました。

しかし、3週間後の接種の時は、とても落ち着いて1度めの時の感想を話したり、受け答えにも余裕を持って答える様子に、應對していただいた桜十字の看護師さんや医師の方が、思わず「一度目とは別人のようですね。」とおっしゃっていました。

非常時の経験など、できれば経験したくありませんが、経験は人を育てる大切な機会なんだと改めて感じた瞬間でした。



何歳になっても
成長中

よろしく お願いします。



令和3年度 新入利用者さんご紹介
ふれあいワーク

本田 康太郎 澤田大輝
有田 みくに
森 光佐 森本 光
新堀 知子

令和3年度 新規採用 職員紹介

中武慧悟 (生活支援員) 緒方郁子 (生活支援員)
松尾美加 (世話人)